

# 資 料

## 新 着 資 料 の 紹 介

### 資 料 室

1) Г. И. Худяков, Р. И. Никонова (1975) : 「Проблемы поверхностей выравнивания горных стран (山岳地域の平坦面の諸問題)」, ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 310p., 図 35, 表 4, 参 526, 27×20 cm (露文), UDC 551. 311

このモノグラフではソ連領極東南部を例にして各地質時代の褶曲区における地形平坦面の形成条件, その形態的な状態が述べられ, 山脈脊梁帯の古期平坦面の残存可能性に関する問題が検討され, 山脈中に認められる平坦地形の生成タイプと生成期が確かめられている. さらに傾斜不整合面に関する資料が紹介され, 著者らはこれを埋没平坦化面としている.

### 目 次

#### 第1章 用語と分類の問題

#### 第2章 現世山岳地形での残存平坦化面保存の可能性と条件について

#### 第3章 山脈脊梁面と階段状山岳地形の起源について

#### 第4章 極東南部山脈中の基底平坦化面の生成型式

##### A 削剝平坦化面

非構造性平坦面 構造性切刻平坦面 構造性平坦面

##### B 火山成堆積面と火山成堆積 - 削剝面

構造性平坦化面

#### 第5章 傾斜不整合面の地形学的意味

#### 第6章 平坦化面に対応する岩石コンプレックスについて

#### 第7章 各種造構造環境下での平坦化面形成条件

##### A 千島 - カムチャツカ地向斜系

##### B 樺太エビ地向斜褶曲地塊新生代山脈系

##### C シホテアリン エビ地向斜褶曲地塊中生代山脈系

##### D 極東南部の先後期白亜紀褶曲作用のエビ地向斜, デュテロ造山, エビ卓状地山岳系

1. ブロック隆起とそれに分界された凹地 - 地溝のアムール河下流地域のエビ劣地向斜系

2. ブロック隆起を主とするクカン - ヤマルイ エビ優地向斜系

##### E ヤンカン - ツクリングラ - ジャグダ デュテロ造山系とそれに伴う凹地 - 平野

##### F アルダンおよびジュグジュル - スタノボイ デュテロ造山系・エビ卓状地山岳系

#### 第8章

#### まとめ

2) Н. И. Свинина 編 (1974) : 「Минералогия, Магматизм и рудогенез Дальнего Востока (極東の鉱物・マグマ作用・鉱床の研究)」, ウラジオストック, 227p., 27×18 cm (露文), UDC : 552. 3+553. 2+548/549

### 目 次

В. И. Сухов, О. В. Шлейсер : サブボルカニック貫入岩の分類と生成機構に関する問題によせて (図10, 参27) p. 3—16

О. Г. Борисов : 噴出ドーム (図3, 表1, 参17) p. 16—29

- Г. М. Власов, М. И. Попкова: サブボルカニック貫入岩の問題と鉍床(図2, 表2, 参20) p. 29—43
- И. Н. Говоров: 沿海州ダリネゴルスク地区を例とした多金属鉍床と火山岩・深成岩コンプレックスとの関係(表1, 参22) p. 44—52
- А. Ф. Болотников, Н. К. Крутов: Амур河沿岸地方バジャル帯結晶質イグニブレイトの地質学的・岩石学的特徴とその起源の2・3の問題(図2, 表2, 参5) p. 53—59
- Г. М. Власов et al.: 海底イグニグライトおよび海底熔岩変質時間について(図6, 表2, 参28) p. 59—78
- Н. С. Благодарева et al.: Садбий鉛・亜鉛鉍床の鉍物資料(図2, 表2, 参13) p. 78—92
- Г. Н. Федчина: 沿海州ニコラエフスク多金属スカルン鉍床の鉍物学的研究によせて(表3, 参6) p. 93—100
- М. В. Степанова, Г. Н. Степанов: Фестивари錫鉍床交代帯の物理化学的生成条件(図5, 表2, 参15) p. 100—109
- А. А. Стрижкова, Г. Б. Девашев: 各種花崗岩類産の黒雲母の含Fe率と屈折率との関係(図3, 表2, 参9) p. 109—117
- Г. Б. Девашев: 花崗岩類産黒雲母中のSn含有率の構造的要素と岩石化学的要素(図1, 参7) p. 117—120
- А. Ф. Болотников, Е. В. Смирнов: 沿海州バジャリ帯流紋岩—花崗岩共生の中生代後期火成岩中の副成鉍物配分の特徴(表4, 参6) p. 120—125
- Е. Д. Петраченко: 国後島オホーツク海海岸の錫・多金属鉍化作用(図3, 表2, 参2) p. 126—130
- Е. А. Кириллов, А. С. Бражников: 後退変成過程時における鉍床生成作用についての問題によせて(参20) p. 130—135
- Р. Я. Скляр, Т. В. Климовская: 極東地域風化殻中のポーキサイト構成鉍物(図1, 参4) p. 135—140
- Г. С. Нечкин, Е. А. Панских: 火山源堆積鉄鉍石中の赤鉄鉍と磁鉄鉍(図8, 参27) p. 140—150
- Т. В. Климовская: Амур-Зея地域の古第三系と新第三系の鉍物コンプレックス(図4, 参4) p. 151—161
- В. К. Рябов et al.: 極東自動車道の沼沢部・凍結部地盤の鉍物組成(表5) p. 162—165
- В. И. Попова, В. А. Попов: 熱水鉍床の鉍化段階区分原則について(図1, 参31) p. 166—170
- В. А. Попов: 結晶形態と鉍物共生(図1, 参4) p. 171—173
- В. А. Попов: 石英の結晶形態によせて(図5, 参32) p. 173—181
- В. И. Попова: 黄鉄鉍の熱起電力と結晶形態との相関性(図1, 表3, 参6) p. 181—184
- Р. И. Петраченко: シホテ-アリン山脈東部の二次珪岩中の電気石とデュモルチエライト(表2) p. 184—187
- Л. С. Жигач: Морпуден複硫化物と極東におけるウモホアイトの発見について(図1, 表2, 参13) p. 187—192
- Л. И. Кулиш: 極東地方含マンガン岩・マンガン鉍産の重土長石, Бранфордサイト, Даннеモライト, ビリディン(表1, 参5) p. 192—194
- М. И. Попкова, Н. И. Юсовских: Амур河下流地方でのデスチネサイトの発見(図2, 表3) p. 195—197
- М. В. Мартынюк: 多鉍物成炭酸塩—泥岩の晶出構造(図5, 参6) p. 198—201
- Н. Н. Никулин, Н. П. Конченко: 錫石の化学的—力学的分離法 p. 201—202
- Ю. К. Полин: Блея山塊変成岩構成鉍物中のFe・Mg配分によせて(図7, 表10) p. 202—220

Г. М. Власов : モノグラフ「火山作用と鉍石の成因」について p. 221—226

3) М. Л. Лурье 編 (1976) : 「Структуры траппов Сибирской платформы (シベリア卓状地トラップ岩の組織)」, ソ連地質省全ソ地質科学研究所報告, 第235号, レニングラード, 写55, 表11, 参105, 27×18 cm (露文), UDC : 552.122 : 553.2 (571.1/5)

トラップ岩岩系の岩石区分に役立つ規準だが, 今まであまり使用されたことのない規準の一つにトラップ岩の組織がある. そこで, 同岩の組織について時代別・地域別に記載する.

## 目次

- 第1章 トラップ岩の組織について
    - 組織名用語集 トラップ岩組織の主型式
  - 第2章 古生代後期—中生代前期トラップ岩岩系
    - 貫入岩
      - ノーリリスク型貫入岩 クーレイカ型貫入岩 カタンガ型貫入岩 アンガラ型貫入岩
      - クジモフスキー型貫入岩 アモフスキー型貫入岩 トイチャン型貫入岩 レトナー型貫入岩 アガト型貫入岩
    - 火山源生成体
      - 噴出岩層 凝灰源岩層
  - 第3章 古生代中期トラップ岩岩系
    - 貫入岩とサブボルカニック岩体
    - 台地玄武岩
  - 第4章 原生代トラップ岩岩系
    - 原生代トラップ岩の組織
- まとめ

4) В. Е. Орел (1975) : 「Разведка газовых месторождений (天然ガス田の探査)」, ネドラ出版所, モスクワ, 200 p., 図39, 表26, 22×15 cm (露文), UDC : 553.981.2 : 550.812.14

## 目次

- 天然ガス田の調査と探査の特徴
  - 層圧測定データによるガス水界面と油ガス界面の出発深度の決定
- 天然ガス田の探査・採掘を目的とした天然ガス田・油田生成盆の地質学的特徴の総合的研究
  - 産ガス・産油層の層位とその物理的性質
    - 天然ガス田の層圧変化の規則性
    - 天然ガス・石油胚胎岩コンプレックスの水理地質学的特徴
    - 天然ガス層と天然ガス田の開発条件の予測
    - 天然ガス層と油層の分布の規則性
- 天然ガス層・天然ガス田の地質学的・鉍業的分類
  - 天然ガス層の分類
  - 天然ガス田の分類
- 天然ガス田の探査法
  - 鉍業的探査法・採掘促進法としての試掘
- 2・3の天然ガス田の試掘結果
  - ケギチェボ天然ガス田
  - ベレシチェピン天然ガス田

クラスノボポフ天然ガス田

ルイバリ天然ガス田

ボロフ天然ガス田

エフレモフ天然ガス田

アチャク天然ガス田

ブクトィル天然ガス田

メドベジェ天然ガス田

天然ガス田開発システムの主要地質パラメータの選択

開発段階と採掘対象の選定

多層天然ガス田開発システム

採ガス井の配置

天然ガス田・ガス層別開発テンポ

老廃ガス層の産ガス効率データの解析

5) Л. А. Матвеева, Е. И. Соколова, З. С. Рождественская (1975) : 「Экспериментальное изучение выноса алюминия в зоне гипергенеза (表成変質帯におけるアルミニウム溶脱の実験的研究)」, ナウカ出版所, モスクワ, 168 p., 図26, 表62, 参134, 22×15 cm (露文), UDC : 553.492.1 : 553.068.3

#### 目次

- 第1章 岩石および鉱物の風化過程における生物気候条件の役割について
- 第2章 ポドゾルからのフルボ酸による鉱物の分解
- 第3章 赤色土からのフルボ酸による鉱物の分解
- 第4章 鉱物風化時の温度要因の役割
- 第5章 鉱物分解時の溶液中へのアルミニウム溶脱作用における pH と錯化合物の役割
- 第6章 媒体 pH に関係した有機酸溶液中の Al および Fe の錯化合物の性質について
- 第7章 鉱物分解時の溶液へのアルミニウム溶脱に対する天然有機酸の各性質の影響  
まとめ

6) В. П. Солоненко 編 (1975) : 「Сейсмоструктика, глубинное строение и сейсмичность Северо-Востока байкальской рифтовой зоны (バイカル-リフト帯北東部の地震構造地質, 深部構造, 地震活動度)」, ナウカ出版所シベリア支所, ノボシビルスク, 101 p., 27×18 cm (露文)

#### 目次

- В. П. Солоненко et al. : Байкал-лифт帯東部と同隣接地域の地震構造地質と構造形態について (図2) p. 4—13
- С. Д. Хилько, В. В. Николаев : Токан盆地の新期構造と地震構造地質 (図1) p. 14—23
- М. Г. Демьянович : Белфне-карал盆地の地質構造に結びついた地震構造地質の発展 (図1) p. 23—28
- М. Р. Новоселова : Байкал-лифт帯北東部の地殻の地球物理探査資料による表面構造と深部構造 (図3) p. 28—39
- С. И. Голенецкий et al. : 沿 Байкал 地方北東部における地殻の厚さと地震波走時曲線 (図5, 表9) p. 40—53
- Д. А. Мишарина : Удкан地区弱震震源のメカニズム (図3, 表4) p. 54—63
- С. И. Голенецкий : Кодал-удкан地区の 1965—1969 年における地震活動度 (図3, 表2) p. 63—71

B. M. Кочетков et al. : 1967年1月18日のタス-ユリャフ地震(図7, 表1) p. 71—94

7) И. С. Ломоносов (1974) : 「Геохимия и формирование современных Гидротерм Байкальской рифтовой зоны (バイカル リフト帯現世熱水の地球化学と生成作用)」, ナウカ出版所ジベリア支所, ノボシビルスク, 165 p., 図27, 表26, 参157, 27×18 cm (露文)

目次

第1章 地下水

地下淡水の主な分布規則性

鉱水とその分布区分

第2章 バイカル リフト帯の現世熱水の分類とその分布規則性

含窒素熱水

含炭酸ガス熱水

含メタン熱水

第3章 バイカル リフト帯の現世熱水の成因

同位体分析資料による現世熱水の H<sub>2</sub>O の起源

ガスの起源

塩イオン組成と微量成分組成の起源

熱水生成作用の地熱環境と地球化学環境

熱水生成作用の古水理地質環境

地殻と上部マントルの深部構造の特徴とその現世熱水生成作用における役割

現世熱水生成作用のモデル

第4章 現世熱水の実用化の展望

鉱泉療養, 保養地施設, 旅行センターへの熱鉱水の利用

暖房, 温室栽培, 地熱発電への熱水の利用

現世熱水の鉱床生成活動と鉱床の予測探査

地震予知への熱水利用の展望

まとめ

8) 中国科学院南京地質古生物研究所 (1976) : 「中国的瓣鳃類化石 (中国の瓣鳃類化石)」, 科学出版社, 北京, 538 p., 図版150, 27×18 cm (中国文)

目次

1. 序言

2. 瓣鳃類の一般形態と構造

3. 海生瓣鳃類化石の系統と各論

古櫛齒目 Palaeotaxodonta Korobkov, 1954 (以下, 科は省略)

古異齒目 Palaeoheterodonta Newell, 1965

異齒目 Heterodonta Neumayr, 1884

満月蛤齒亜目 Lucinodonta Korobkov, 1954

花蛤齒亜目 Astartedonta Korobkov, 1954

女蜆齒亜目 Cyrerodonta Korobkov, 1954

厚齒目 Pachyodonta Steinmann, 1903

新櫛齒目 Neotaxodonta Korobkov, 1954

弱齒目 Dysodonta Neumayer, 1883

貧齒目 Desmodonta Neumayr, 1883

4. 非海生瓣鳃類化石の系統と各論  
古異歯目 Palaeoheterodonta Newell, 1965  
異歯目 Heterodonta Neumayr, 1883  
女峴歯目 Cyrenodonta Korobkov, 1954  
新櫛歯目 Neotaxodonta Korobkov, 1954  
弱歯目 Dysodonta Naumayr, 1883
5. 古生態の紹介, 非海生・海生瓣鳃類化石の区別
6. 中国の各地質時代の瓣鳃類化石動物群と分布
  - 1) 海生瓣鳃類の化石動物群と分布
  - 2) 非海生瓣鳃類の化石動物群と分布
7. 中国の瓣鳃類化石産出層の一覧表
  - 1) 海生瓣鳃類化石産出層一覧表
  - 2) 非海生瓣鳃類化石産出層一覧表
8. 中国の既知瓣鳃類化石地史分布表
9. 参考文献
10. 瓣鳃類化石名中英対照表
11. 化石属種索引
12. 図版の説明

9) В. В. Ковальский (1974): «Геохимическая Экология (地球化学的生態学)», Наука出版社, Москва, 299 p., 図117, 表103, 参564, 27×18 cm (露文)

目 次

- 第1部 地球化学的生態学の理論的立場
  - 第1章 地球化学的生態学とその課題
  - 第2章 生物圏の自然化学的モザイク性
  - 第3章 生物の化学組成
  - 第4章 生物地化学的食物循環
  - 第5章 化学元素の限界濃度
  - 第6章 生物に対する作用での微量元素の相関性
  - 第7章 微生物の地球化学的生態
  - 第8章 植物の地球化学的生態
  - 第9章 媒体の地球化学的要素に対する動物および人間の反応
- 第2部 生物地化学区区分
  - 第10章 生物圏区・亜区
  - 第11章 生物地化学図化
- 第3部 各生物圏亜区条件下における生物の地球化学的生態
  - 第12章 生物圏礫素亜区条件下における生物の地球化学的生態
  - 第13章 Cu 欠乏, Mo・硫酸塩過剰条件下における生物の地球化学的生態
  - 第14章 ザバイカル地方・タジック地方の Sr-Ca 生物圏亜区条件下における生物の地球化学的生態
  - 第15章 高 Mo 環境の生物圏亜区における生物の地球化学的生態
  - 第16章 固有嚙のうの地球化学的生態
  - 第17章 イシク・クーリ盆地生物圏ウラン亜区条件下の生物の地球化学的生態
  - 第18章 Se に富む生物圏亜区条件下における生物の地球化学的生態
- 第4部 地球化学的生態学の実用の展望

第19章 農業・獣医学・医学・地質学への地球化学的生態学の意義  
文献

10) Н. А. Маринов 編 (1974) : 「Гидрогеология Азии (アジアの水理地質)」, ネドラ出版所, モスクワ, 575 p., 図76, 表71, 参750, 27×18 cm (露文)

目 次

第1章 水理地質区区分の原理と方式

第2章 水理地質区, 水理地質域, アーテシアン盆地の地下水の一般的特徴

A 北氷洋流入河川流域水理地質区

- I 西シベリア水理地質域 (各アーテシアン盆地の項目は省略, 以下同じ)
- II 東シベリア水理地質域
- III ヤナーコルイマ水理地質域
- IV チャウン-チュコトカ水理地質域
- V セレンガーバイカル水理地質域
- VI 浅海アーテシアン盆地の水理地質域

B 黒海・地中海/流入河川流域/水理地質区

- I 沿黒海水理地質域
- II 北地中海水理地質域
- III 東地中海水理地質域
- IV キプロス水理地質域

C 内陸流入河川流域水理地質区

- I 北沿カスピ海水理地質域
- II ツラン水理地質域
- III 南沿カスピ海水理地質域
- IV 浅海アーテシアン盆地の水理地質域
- V レザイエ-ワン水理地質域
- VI イラン-アフガン水理地質域
- VII 沿バルハシ水理地質域
- VIII 中部アジア水理地質域
- IX チベット水理地質域

D インド洋流入河川流域水理地質区

- I アラビア-メソポタミア水理地質域
- II 紅海-アデン水理地質域
- III オーマン水理地質域
- IV インドス水理地質域 (アーテシアン盆地)
- V ガンジス水理地質域 (アーテシアン盆地)
- VI ナルパッド水理地質域
- VII インド水理地質域
- VIII 西ハート水理地質域
- IX スリランカ水理地質域
- X イラワジー-サルウィン水理地質域
- XI 西マラッカ水理地質域
- XII 浅海アーテシアン盆地水理地質区

E 太平洋流入河川流域水理地質区

- I アナディル水理地質域
- II 南コリャーク水理地質域
- III オホーツク水理地質域
- IV ウックートトゥグール水理地質域
- V モンゴル-アムール水理地質域
- VI シホテ-アリーン水理地質域
- VII オルドス水理地質域
- VIII 北中国水理地質域
- IX 北朝鮮水理地質域
- X 南朝鮮水理地質域
- XI 楊子江水理地質域
- XII 南中国水理地質域
- XIII 西江水理地質域
- XIV インドシナ水理地質域
- XV 東ベトナム水理地質域
- XVI 東マラッカ水理地質域
- XVII 南海南島水理地質域
- XVIII 太平洋列島弧水理地質域
- XIX 浅海ア-テシアン盆地水理地質域

### 第3章 地下水生成作用の諸問題

- 地下水の化学組成形成作用
- 断層転位帯での地下水形成作用
- 淡水地下水の形成とその資源分布の規則性
- 鉱泉水と温泉水

### 第4章 ア-テシアン盆地の比較検討

11) Г. Б. Фершгагер, Н. С. Бородина (1975) : 「Петрология магматических гранитоидов (マグマ分化花崗岩類の岩石学的研究)」, ナウカ出版所, モスクワ, 288 p., 図93, 表60, 参444, 26×17cm (露文), UDC : 550.40

## 目次

- I 花崗岩類の成因的分類について
  - 第1章 各種含水飽和率の花崗岩マグマ
  - 第2章 ウラル地方花崗岩類の生成区分
- II ウラル地方花崗岩類の主要フォーメーションのタイプ
  - 第3章 はんれい岩-花崗岩フォーメーションのタイプ
  - 第4章 トーナライト-花崗閃緑岩フォーメーションのタイプ
  - 第5章 アダメライト-花崗岩フォーメーションのタイプ
  - 第6章 花崗岩フォーメーションのタイプ
  - 第7章 ウラル地方花崗岩類主要フォーメーションタイプの微量成分
  - 第8章 ウラル山脈南部の古生代中期・後期花崗岩マグマ活動発展様式
- III 花崗岩類の相解析
  - 第9章 各種深度相の花崗岩類の造岩鉱物
  - 第10章 アルカリ長石の斑状晶出物とその岩石学的意義
  - 第11章 花崗岩類生成条件の指標としての石英-長石連晶

新着資料の紹介(資料室)

第12章 各種深度相の花崗岩類共生形成作用の一般的規則性

IV 花崗岩類岩系の起源

第13章 酸性噴出岩・花崗岩類の晶出作用

第14章 成因に関連した花崗岩類岩系の主な特徴

まとめ